

千葉大学医学部附属病院で肝臓の病気に対し 肝切除をうけられた患者の皆様、ご家族の皆様へ

2025年7月14日

肝胆膵外科

肝胆膵外科では、肝切除を要する肝疾患症例の診断および予後因子に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2002年1月1日～2024年12月31日の間に肝臓の病気に対し肝切除をうけられた方

1. 研究課題名

「肝切除を要する肝疾患症例の後ろ向き解析による診断および予後因子の解明に向けた研究」

2. 研究期間

2025年承認日～2028年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

肝臓の病気（おもに肝臓に発生した腫瘍）に対する肝切除は疾患を根本的に治すことを目指すうえで非常に強力な治療手段です。どのような方にどのようなタイミングで、どのような手術を行うのが最適か、近年の進歩が目覚ましい薬物治療とどのように組み合わせていくべきかを明らかにすることを目的としています。

2002年1月1日～2024年12月31日の間に肝腫瘍に対し肝切除受けられた方を対象に2025年6月30日までの診療情報を収集し解析を行います。

4. 研究に用いる情報の種類

2002年1月から2024年12月までの間に当院において、肝臓の病気に対し肝切除をうけられた方の診療録に記載されている性別、年齢、人種、身長、体重、BMI、体の表面の面積、病歴、血液検査値、診断、当科で行った術前、術後の検査、治療の結果、手術の方法、合併症、治療経過、生存期間等について調べます。

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者 肝胆膵外科 教授 大塚将之

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学大学院医学研究院臓器制御外科学教室の鍵のかかる保管庫において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

肝胆膵外科 教授 大塚将之

診療講師 酒井望

043 (222) 7171 内線5286